資料５

緊急アンケート調査の骨子（案）

１　目　的：船事業と留学の両方の経験がある者から、両方の経験から得られたと考えられる効果を聞くことにより、船事業の効果を明らかにする。
２　対象者：青年国際交流事業の船事業への参加者（10 年以内の者）
３　期　間：７月中に実施
４　方　法：メールを通じたアンケート調査
５　項　目：

Ｑ１　参加事業、時期
Ｑ２　留学先、期間
Ｑ３　事業と留学の経験に基づく効果の比較（７段階で回答）
　○　国際的コミュニケーション能力
　○　異文化への対応力
　○　集団生活への適応力
　○　主体性・積極性、リーダーシップ
　○　社会貢献の姿勢
　○　外国語
　○　専門的な知識・技能
　○　同窓生とのその後の連絡、連携など
Ｑ４　留学経験と比較しての船事業の意義（自由記述）